

百歳 ばんざーい!!

満百歳おめでとうございます

10月8日、今年度めでたく満百歳を迎えられる方々に、内閣総理大臣から祝状と銀杯、町からは花束などが贈られました。

贈呈に訪れた香取健康福祉センター副所長や町長らを笑顔で出迎えてくれた皆さん、これからもどうぞお元気にお過ごしください。

本人やご家族の方にご長寿の秘訣を聞いてみました。



林 ミツ子さん (塙)

「何でも好き嫌いなく食べること、
できることは自分でやること」



山下 ちよいさん (十余三)

「さつまいもなど、自然のもので
食べたいものをよく食べてきたこと」



松浦 佳子さん (川島 花立第一)

「自分でできることは何でも
自分でやってきたこと」



中村 フジノさん (二本松)

「食事をちゃんと3食とって、好き嫌いを
しないこと。面倒くさがらずに動くこと」



原 やすさん (大穴)

「毎晩、食事の前に飲む
コップ半分の晩酌が楽しみです」

皆さんの話を聞くと、どうやらご長寿の秘訣は食べ物や運動にあるようですね。

おめでとうございます



「森の能手・名人」に認定
森づくり部門 大径木伐採
富澤 憲治さん
(本三倉)

(公社)国土緑化推進機構では、森を守り育て、その恵みの重要性を広めることで、より多くの人に森林について理解を深めてもらうことを目的に、平成14年度から「森づくり」「森の恵み」「加工」「森の伝承・文化」の4部門において優れた技を極め、他の模範となる達人を「森の能手・名人」として選定しています。第13回目となる今回は全国で64名が認定され、富澤さんは幹周が90cm以上の大木を切る名人として認定されました。

「この仕事をやるからには極めようと信念と根性を持ってやってきました。認められたことにほっとしましたが、技術の向上には限界がないと思っています。これからも頂点目指して頑張っていきたいと思います」と話されました。



青少年育成市町村民会議
青少年指導者表彰
篠原 眞治さん
(南中 宿)

篠原さんは、中村小学校の児童に30年以上にわたり伝統芸能であるお囃子を指導するとともに、そのお囃子で使う篠笛を作り、年間最低20本、延べ700本近くを無償で提供してられました。

「40年ほど前に多古高校からの依頼でお囃子を教えたのがきっかけでした。実は、自己流で見よう見まねで笛を作ってきたんです。みんなの心が一つになればお囃子はできませんし、仲間意識が強くなることはいいことです。少しでも青少年の健全育成につながればという思いで続けてきました」「考え方ひとつで何事も楽しいと思えば続けられます。仕事も遊びも楽しむことが大切」と今までの振り返りながら、「このような章をいただいて正直、びっくりしています」と受章の感想を話されました。

古代米(黒米)の アメ発売!!

農畜産物を加工して付加価値を高めるとともに、より多くの方々に多古町産農畜産物のことを知ってもらうための取り組みとして、古代種黒米を使ったアメが10月8日に発売されました。本年度町が公募した「多古町農畜産物ブランド化推進事業補助金」を活用し、4年ほど前から黒米の栽培を始めた郡司平さん(島地区)がアメ業者等と試作を繰り返して「しょうゆ味と塩味」の2種類を開発しました。

黒米は文字通り種皮が黒色で、抗酸化作用や美肌効果があるといわれているポリフェノールが含まれているほかに、白米と比べて食物繊維や鉄分・マグネシウムが多く、市販の雑穀米に使われることもあります。

発売日に道の駅多古で行われたキャンペーンでは、各味50袋が用意されましたが、小1時間ほどで完売する人気ぶり。試食も行われ、食べた方は「しょうゆ味はおこしみたいで、塩味は塩アメのようで美味しいですね。練り込んである炒った黒米も香ばしいです」と話します。



発売キャンペーンをする
郡司平さん(中央)



しょうゆ味(左)
塩味(右)